

令和7年度入学式 式辞

本日、山梨大学に入学された、学部生 893 名、特別専攻科 7 名、教職大学院 25 名、修士課程 259 名、博士課程 51 名の皆さん、入学、誠におめでとうございます。

本学の教職員及び学生を代表し、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

これまでの皆さんのご努力に敬意を表するとともに、皆さんを支えてこられたご家族及び関係者の皆様にも、心からの祝福を申し上げます。

また本日はご多忙の中、山梨県知事 長崎幸太郎様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、深く感謝申し上げます。

皆さんが入学されたここ山梨大学は、2002 年に、旧山梨大学と山梨医科大学が国立大学として全国で初めて統合し、誕生した大学であります。

統合前の両大学の歴史に触れますと、旧山梨大学のルーツは 230 年前の 1795 年（寛政 7 年）に、徳川幕府昌平黌の分校として設立された「黌典館」まで遡ることができ、現在の教育学部の原点となっています。

工学部は、大正時代に設置された山梨高等工業学校を母体とし、昨年 100 周年を迎えました。

医学部は、1978 年に現在の中央市に開設された山梨医科大学を母体とし、47 年の歴史を有しています。

生命環境学部は、最も新しく、大学統合後の 2012 年に農学系学部として創設されました。

大学院は、大学統合を機に学部を横断した体制を整備し、現在は医工農学総合教育部修士課程・博士課程として教育・研究活動を行っています。

教職大学院は 2010 年、特別専攻科は 1967 年にそれぞれ設置されました。

現在の山梨大学は、4 つの学部、2 つの大学院、1 専攻科を有し、約 4,800 人の学生と、3,100 人余の教職員が所属しています。

「地域の中核、世界の人材」をキャッチフレーズとし、大学統合の際に掲げた『諸学融合』の精神のもと、専門領域の柔軟な融合により、さまざまな現代的な課題の解決に向け、全学一体で教育・研究・地域貢献に取り組んでいる総合大学であります。

本学の特色ある教育の取組みとして、「何を学び、何を身に付けることができるのか」を明らかにした上で、学生の皆さんが主体的に学ぶことができるよう、学修者本位の教育を目指し、カリキュラム改革を進めています。

2019 年には山梨県立大学と連携し、「一般社団法人大学アライアンスやまなし」を設立し、全国で初めての大学等連携推進法人の認定を受けました。

これにより、学生の受講する科目の選択肢が広がり、「連携開設科目」を通じて、皆さんも県立大学の授業を履修できるようになりました。

さらに、デジタル技術を活用したデータ分析などにより、入学前から卒業後までの一貫した相談・支援体制を整備し、学修面や生活・進路面での不安・悩みを解消できるようサポートする体制を構築しています。

研究面での特色ある取組みとしては、水素エネルギー時代を牽引するクリーンエネルギーや燃料電池・ナノ材料、山梨の文化・風土・地理的要因から育まれたブドウ・ワイン科学、世界トップレベルの発酵工学、先端脳科学などの活動を展開しております。

また、医学部附属病院においても、地域医療に力を入れつつ、最先端の臨床研究で大きな成果を挙げています。

このように、本学山梨大学は、高度かつ独創的な研究を推進するとともに、その成果を教育にも展開し、「真に地域の活性化を担い、世界で活躍できるグローバル人材の育成」を目指しています。

山梨大学は、山梨県唯一の国立大学としての使命を果たすため、人材育成と研究成果の

社会還元を推進するとともに、産業界や自治体、地域社会と連携しながら、新たな価値を創出していくことを目指しています。

そのために、産官学金の連携をさらに強化し、地域経済の発展を支え、イノベーションを創出し、社会に貢献する人材の育成に努めてまいります。

私は、地域のニーズを的確に捉え、それに応じて教育・研究を発展させていくことが重要であり、不足している要素を補い、新たな知の創造に挑戦することこそが、私たちの未来を切り拓く原動力となると確信しております。

また、本学は「教職学協働」の精神を大切にし、学生の皆さんとともに大学をより良いものへと発展させていきたいと考えています。

大学は皆さんの学びの場であると同時に、共に成長し、新たな未来を築く場でもあります。

その一例として、学生の視点から山梨大学の魅力を情報発信することを目的に「学生広報スタッフ」という制度を導入しています。具体的には広報誌や、県内で放送しているテレビCMやミニ番組、YouTubeでの動画の制作を行っています。

ぜひ皆さんも主体的な学びとして、大学の改革や発展に積極的に関わっていただきたいと思います。

私は、皆さんとともに、より魅力ある山梨大学を創り上げていきたいと考えています。

さて、大学での学びは、高校までの学習と大きな違いがあります。

大学での学びは、正解がある、または正解を覚えることの学習ではないということです。

自分で課題を見つけて、自分で解決する方法を見出していくこと、その中で自らの可能性を追求するとともに、様々な人との関わりの中で、人に優しい心を養っていくことを目指しています。

私は皆さんに、自分自身が何をしたいのかを大切にし、自由な発想を持ち、新たな挑戦に積極的に取り組んでほしいと願っています。

大学は単に決められた枠組みの中で学ぶ場ではなく、新しい価値観を生み出し、柔軟な発想を持って挑戦する場でもあります。

皆さんは、「無限の可能性」を持っています。

そして、その「無限の可能性」は皆さんが様々なことに、自ら挑戦してこそ発揮されるものです。

多くのことに興味関心を持ち、果敢にトライする気持ちを持ち続けてください。

失敗したからダメなのではなく、なぜうまくいかなかったのかを分析し、その失敗を次のステップに活かすよう思考し、工夫していく、そんな生き方を、この山梨大学で、ぜひ身に付けてください。

私は皆さんに、自らの「無限の可能性」を信じ、積極的に新しいことに挑戦していただきたいと願っております。

私たち教職員は、皆さんがより居心地よく学び、より充実した学生生活を送ることのできるよう、全力で支えてまいります。

皆さん一人ひとりの素晴らしい未来に向けて、大きなエールを送ります。

ここで、本学の卒業生で2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智先生に教えていただいた「縁尋機妙（えんじん きみょう） 多逢聖因（たほう しょういん）」という言葉を入学された皆さんに贈ります。

「縁尋機妙（えんじん きみょう） 多逢聖因（たほう しょういん）」とは、「良い縁は良い縁をたずねて発展し、良い人と交わっていると良い結果に恵まれる。」という意味の言葉です。

皆さんが、ここ山梨大学で結んだ縁がさらに良い縁を呼び、その良い縁で出会った人たちとの関わりが、皆さんを良い人生へと導いてくれることを心より願っています。

ぜひ、様々な方と関わり、良い縁を繋げ、広げていってください。

山梨大学は学生と教員・職員の距離が、非常に近い大学です。どうか遠慮せず、多くの教員・職員と積極的に関わりをもってください。

皆さん一人ひとりに寄り添い、有益なアドバイスをしてくれます。

また、本学の教職員や学生のみならず、OB・OGの皆さん、他大学や地域の方々など、多くの人々と交流し、その縁を大切にしたいと願っています。

本日は、15か国から45名の留学生の皆さんが、学士課程、修士課程、及び博士課程に入学されました。

ここで、留学生の皆さんに敬意を表し、英語でのスピーチをさせていただきます。

To all of our international students, congratulations on your admission and welcome to the University of Yamanashi.

Your decision to study in a new country is both exciting and challenging, and we truly admire your courage and determination.

We believe that the knowledge and experiences you gain here will shape your future and open doors to new possibilities.

Embrace every challenge as a chance to learn, and remember that we are always here to support you.

Welcome to our university and congratulations to all of you today.

結びに、入学されたの皆さん、並びにご家族の皆様に、あらためて心底よりお祝いを申し上げ、私からの式辞といたします。

ご入学、誠におめでとうございます。

令和 7年 4月 4日
国立大学法人 山梨大学 学長 中村和彦